

第 65 回全日本学生拳法選手権大会特別規定

コロナ禍における限定試合規定

- ①特別規定以外は全て例年通りのルールで行う。
- ②特別ルール
 - 面下のマスク着用(鼻腔開襟)
 - マウスピース使用推奨(義務化ではない)
- ③面下のマスク・マウスピース再着装のための面脱着は警告点を科さない。
- ④審判団は独自に感染防止対策を鑑み審判を行う。

この限定試合規定は山本会長より主要大学のプレーヤーに調査を行い、意見集約したものを関係者で協議して決定したものである。

面下のマスクは白色に限定する。

試合場参加者への注意「含む・入館時に確認」

各大学指導者・選手・OB・保護者は入館タイムテーブル(別紙)を厳守して下さい。提示時刻まで入館不可。

選手・指導者

- ①西日本関係者は全員選手・指導者共に個人IDカード着用義務。
- ②東日本・中部日本、選手はIDカード着用義務無し。但し登録選手(道着)以外は大学別IDカード着用義務。指導者はIDカード着用義務。

日本拳法競技連盟関係者・賛助金寄付者・広告協力者

入館時に役員証を配布着用し定められた配席にて観戦。

OB・保護者

- 1 大学につきOB・保護者併せて30名以下(小学生以下は極力入館自粛)とし、全員大学別IDカード着用。
- 大学別入館時間を厳守。他大学の試合観戦は不可。

大学別IDカード不足している大学は入館時に販売。

全観戦者は定められた配席場所2階より行う。1階試合場は選手・指導者(3名以下)・大会役員以外は一切入場禁止。

1階試合場入場可(ベンチ入)の全指導者(3人以下)・選手は必ずスリッパ着用し、競技マット前で脱ぐ。

試合前後に円陣を組んで士気を鼓舞す行為は禁止。

自校が敗戦した場合、自校と共に選手・指導者・OB・保護者も退館する。

各大学広報・新聞部関係(1大学2名まで)の撮影は運営本部で許可を貰い、自校が敗退すれば退館する。

各大学の指導者は当日の自校関係者氏名を掌握し保管。また、全参加者にココアアプリの導入指導(義務)

各大学の指導者は本大会出場選手(含む補欠・応援)から保護者及び選手本人の大会出場承諾書(各大学作成)を提出させ、その際、決して強制の無いように配慮する。体調不良者は大会参加させない。

各大学の指導者は大会観戦参加者を掌握し大会終了後2週間は保管。

OB・保護者等の大体の氏名を記載した簡単なもの。

各大学指導者は選手健康管理表(別紙資料)を記載し大会終了後2週間は保管。

管理表は各大学の記載しやすいように記入して、指導者の掌握用です。

全参加者は入館時にマスク着用し検温(37.5以下)・消毒を行う。入館後も出場選手以外はマスク着用を義務化。出場選手は特別ルールに従う。

今大会の応援団の参加は不可。各大学の応援は声援厳禁とし、拍手のみとする。

本大会では優勝校の学歌斉唱は行わない。

観覧席での飲食は禁止し、午前・午後の長時間試合する大学は所定の場所で飲食しゴミは必ず自宅まで持ち帰り、帰路一般ゴミ箱に捨てない。

本連盟主催(主管)大会での事故・ケガ・その他のアクシデントが発生した場合は主催(主管)が加入した傷害保険範囲内で補償することとし、選手本人または選手本人所属大学に過失があると判明した場合は、その被害者自身の自己責任として処理する。

また、感染症防止対策には所轄保健所と連携して万全を期していますが万一罹患(大会中・大会後)した場合は主催者に報告し、その指示に従う。

※本大会はコロナ禍の中で何とか大会開催という思いから各関係監督や医療専門家の意見を取り入れて大会役員が苦心惨憺し選手(特に4回生)の為に開催にこぎつけました。ご不便をお掛け致しますが、何卒、ご理解・ご協力お願い申し上げます。